

CS対応型屋内用混合(分波)器

MODEL
MX-455S

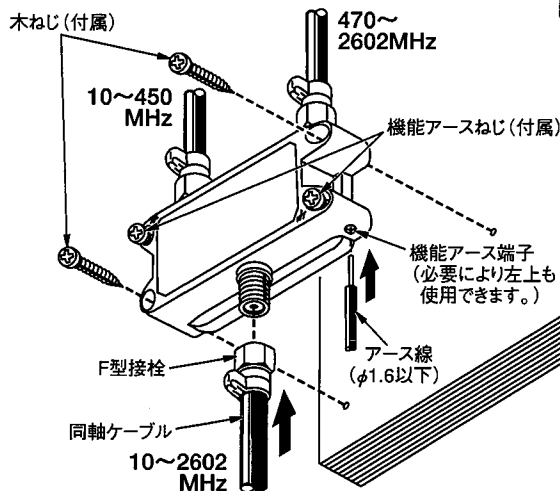
●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

1. 10～450MHz帯と470～2602MHz帯を混合(分波)する機器です。
2. 470～2602MHz入力端子ー10～2602MHz端子間電流通過。(DC15V・0.5A/最大AC30V・1A)
3. 接栓座とハウジングを一体化した亜鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。

■標準性能表

周波数帯域 (MHz)	10～450	470～2602
通過帯域損失 (dB以下)	2.5	3.0
阻止帯域減衰量 (dB以上)	20	20
入出力インピーダンス (Ω)	75	
電圧定在波比 (以下)	2.5	3.0
寸法 (mm)	57(高さ)×76(幅)×20.5(奥行)	



ポイント

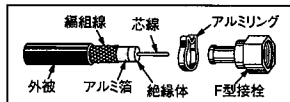
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクタを使用してください。
- 付属品として木ねじ、機能アースねじがついています。

●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかを確認してください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを交換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m(約20kgf・cm)

④ 編組線をめくりあげます。

⑤ 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

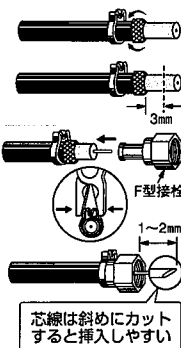
⑥ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

⑦ 芯線の先端は1～2mm出し、斜めにカットしてください。

芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。



お客様窓口専用ダイヤル

(03) 3893-5243

ご利用時間 9:00～18:00(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221(大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様・外観の一部を予告なく変更することがあります。
D832017100 平成21年12月